

新保議員。

16番（新保峰孝君）

県のほうで具体的な話が出る前に、これがある程度めどが立つようにぜひ取り組みを強化してやっていただきたいと思います。そういうふうにはできないんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答え申し上げます。

新駅設置につきましては、県のほうと協力しまして着実に一步一步階段を上ってるという状況であります。そういったことで、もうしばらく時間を頂戴したいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

総合的に考えなきゃいけないと思うんですよね、こういう鉄道の場合もです。新しい駅をつくる、もちろん十分検討するというのも大事ですが、早くやっていただきたいと思います。

補助金の関係についてはどうなってます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

新駅設置に関する国の補助金等については、平成28年度に交通網形成計画を立てて、国の補助対象に持っていきたいということで考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

終わります。

議長（倉又 稔君）

以上で、新保議員の質問が終わりました。

次に、田中立一議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。〔7番 田中立一君登壇〕

7番（田中立一君）

市民ネット21、田中立一です。

発言通告に基づいて一般質問を行います。

1、起業・創業支援について。

人口が減少し、以前のような経済の右肩上がりが見込めない現在、国は経済成長の発展に女性や若者の起業家が活躍できることが重要であり、その環境を整備しなければならないとし、地方では国の支援事業を受け、地域経済の活性化を担い、更に移住促進にも期待できるとして起業・創業の支援に力を入れる自治体が増えていますことから、糸魚川市の起業・創業支援について伺います。

(1) 昨年国から認定された「創業支援事業計画」の取組状況について。

(2) 空き家、空き店舗、空き公共施設の活用とそれらを利用したインキュベーション型などの「シェアオフィス」整備の検討について。

(3) 1次産業の新規就業状況と製造・加工及び販売の創業について。

2、北陸新幹線、高速道路、国道の騒音等環境問題について伺います。

(1) 北陸新幹線沿線の騒音・振動の現在の対応状況について。

(2) 市内国道及び高速道路の騒音等環境問題の現状について。

3、北陸新幹線糸魚川駅とえちごトキめき鉄道の利用状況と今後の利用促進策について。

(1) 間もなく開業1年を迎える北陸新幹線の利用状況は、JR西日本によれば、開業から今年1月末までに乗客は前年のおよそ3倍に伸び、観光客の増加が大きな要因と報道にありました。

上越妙高駅 糸魚川駅間での乗車人員はおよそ836万人、1日平均26,000人だったそうで当初予想を上回り好調と聞きますが、糸魚川駅の利用と経済波及効果は薄いとの声が多く聞かれることから、市の認識と対応について伺います。

(2) 同じく開業1年を迎えるえちごトキめき鉄道について伺います。

ダイヤ改正による朝夕の混雑解消について。

リゾート列車、イベント列車、サイクルトレインの運行予定について。

以上、よろしく願いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

田中議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、創業支援ネットワークによるワンストップ窓口を設立するとともに、2月27日に创业者の掘り起こしを目的に創業セミナーを開催いたしましたところであります。

2点目につきましては、起業家の育成や新しいビジネスを支援する方法の1つではあると思いますが、現時点では整備は考えておりません。

3点目につきましては、毎年数名の方が新たに1次産業に従事されております。

6次産業化につきましては、米の直接販売や米菓の製造販売、ワサビの加工販売などがあります。

2番目の1点目につきましては、鉄道・運輸機構においてトンネル出入口の音源対策と住宅の防音工事費の補償を進めております。

2点目につきましては、一般国道8号などで基準を超過してる箇所がありますので、国土交通省と東日本高速道路株式会社に対して基準を達成するよう要請を行っております。

3番目の1点目につきましては、観光入込客数は市内全域で増加いたしておりますが、特に糸魚川駅周辺で大きく増加いたしており、今後も2次交通の整備が重要と考えております。

2点目の1つ目につきましては、車両の増設を引き続き要望してまいります。

2つ目のリゾート列車につきましては、4月23日から土・日・祝日に運転される予定であり、イベント列車につきましては、ことしも春から運行する予定であります。

また、サイクルトレインにつきましては、3月14日から18日まで実証社会実験を行う予定であります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

まず、ビジネスチャレンジ支援事業についてお伺いしたいと思います。

全国的に事業所数が減少傾向でありまして、事業所が減っていくと人口減少につながり、地域の魅力、あるいは町の活性化が失われると言われております。糸魚川市でも同様で、平成24年の経済センサスがあるんですけども、先ほど新保議員いろいろと従業員数等産業別の率についてお話がありましたけれども、平成24年の経済センサスでは、市内の事業所数が2,825だったのが、平成24年の2月1日現在では、2,612で213の減、7.5%の減で、それに伴って従業者数も3,298人減、14.5%の減というふうになっております。

創業支援なんですけれども、これまで本市としては、ビジネスチャレンジ支援事業を行ってまいったわけなんですけれども、改めてその取り組み内容と利用実績についていかがだったのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

本市が行ってまいりましたビジネスチャレンジ支援事業の平成27年度の状況をご説明申し上げます。

開業に係ります設備経費を助成する中心市街地創業支援事業では、飲食店の開業が1件ございまして、補助金150万円を助成したところであります。

また、開業に必要な資金を借り入れた場合の利子につきまして、3年間助成します創業支援資金利子補給事業につきましては、美容業、飲食店などの開業で、新規申し込みが10件ございました。開業から3年間の利子を助成するわけありますので、継続分を合わせますと19件の助成をいたしてるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

このビジネスチャレンジ支援事業において、いろんなパターンがあるわけなんですけれども、主に市内在住者、今、実績をおっしゃったものと市外からの申し込みがあるかどうかと思うんですけれども、市外からの申し込みの状況というのはいかがだったんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

市内の創業資金利子補給制度をご利用していただいた方々の内訳をご説明しますけども、25年度以降、3人の方が利子補給制度を利用していただいております。これは当市に転入してから5年以内に創業した方々でございまして、いずれも女性でございます。

以上であります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

それで、昨年認定されました創業支援事業計画でありますけれども、これは国の支援業者を受けてのものでございますけれども、このビジネスチャレンジ支援事業との違いはいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

創業支援事業計画につきましては、産業競争力強化法に基づきまして地域における創業を促進し、市町村が中心となって民間企業などと連携して、創業者に身近な場所に支援体制を整備するという取り組みでネットワークを開催させていただいたわけでありまして、先週の土曜日にも初めてのセミナーが開催されたわけでありまして、商工会議所、信用組合、日本政策金融公庫などとの連携体制をつくりましてワンストップの相談窓口を設けたわけでありまして、相談内容によって必要な支援を紹介し、創業後も事業の成功を見守っていくということが目的とされているわけでありまして、

これまでは、それぞれの機関で個別に創業をサポートしておりましたので、情報の共有という部分では、少し不足していたところを感じております。連携によってお互いの得意分野やノウハウを補完しながら、共有しながら地域全体としてサポートする体制ができたというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

今ほど説明の中で、産業競争力強化法の話がありました。これは平成26年に、2014年に制定されたものかと思うんですけれども、特に開業率、廃業率の新陳代謝を促すことが目的だと。それをするための創業支援が大事だと。

日本の開業率というのは、非常に低くて欧米の半分程度で、まずはこの欧米並みに持っていきたいということだというふうに聞いております。日本の開業率は4.9%、平成26年ですけれども、廃業率が3.7%、その中でも新潟県の開業率は3.4%で全国42位。糸魚川市の開業率・廃業率は把握されていたらお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

これもハローワークの雇用保険主要指標の中からご説明申し上げますけれども、事業所の関係におきましては、12月末現在の事業所数では798、それから新規に事業所としてなった方が9でございます。廃止が19という27の状況であります。26年度では、事業所数が808、新規で17、廃止が20ということでございまして、24、25よりも若干廃止の数が減ってきているかなという状況が見てとられます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

27日に行われた創業セミナー、これがチラシでありますけれども、きょう午前中のお話にもありましたし、今、課長からもお話がありましたけれども、40の方が参加された。目的どおり、当初予想どおりというか、かなり関心の高さを伺えるんですけれども、このうち個別相談もあったかというふうに書いてあるんですが、個別相談された方は何人おられたんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

当日は日本政策金融公庫のほうから、創業ってどういうことというふうな講演をいただきまして、その後、体験者がお二人、私はこうして開業しましたというふうな体験談をお聞かせいただきました。その後、今ご質問の個別相談につきましては、5の方が個別相談を受けていただきました。各関係機関で個々のケースに応じたきめ細かい支援を行い、その相談内容を連携機関で共有し、次の段階に必要な支援につなげて、創業の実現まで伴走していくことが必要だということを考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

今回、第1回目、5の方が相談、相談された方はかなり確率が高く創業のほうに関心も高いんじゃないかと思うわけですけれども、総合戦略においては、KPIで平成31年までに創業数を48というふうに明記しておるわけです。これに向かったの取り組み、年間等はどのように設定さ

れておられるか、また進捗状況等はどうのようにやっていくのか考えがあれば伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

26年度に創業支援事業計画の連携機関でかかわってまいりました創業件数が19件でありました。

また、総合戦略のKPIの目標値も創業支援事業計画の目標値としておるところでございます。26年度の実績が19件でございますので、年間24件クラスを目標としながら取り組んでまいりたいというふうに考えておるところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

年間の数が非常に多くて意気込みはいいなと思うんですけども、この計算でいくとかなり創業数がふえていくんだなというふうに考えられるわけですけども、先ほどの話にあった平成31年での創業数48というのは、これは年間の数字なんでしょうか、それとも累計で48というふうに持っていくという数字なんでしょうか。いまいち数字の整合性というの、合わないんじゃないかなと思うんですけどもいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

26年の実績件数が19で、それより5件ふえることを目標としながら、KPIの年間目標では、年間で48件を目指してネットワークで総力を挙げながら取り組んでまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

ぜひ頑張ってやっていただきたいと思うんですけども、創業の中でも時代の変化や状態によって、第2創業をされる、特に後継者などにそういった方が見受けられるんですけども、糸魚川での第2創業の状態というのは、いかがなもんなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

27日に開催されました創業セミナーにおきましても、体験談を発表いただきましたフェルエツ

グさんやブオーノさんなど市内でも第2創業の動きがありますので、市といたしましても商工団体やNICOなどとの制度を活用しながら第2創業の取り組みを支援してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

じゃあ今後ですけれども、この創業支援事業計画、今年度これからどのように活動を、さらに事業をしていくのか、事業がもし計画されていたら教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

先週の土曜日の27日には、初めてのセミナーでありました体験談のお話を聞いて個別相談された方も非常によかったというふうなご感想をいただいております。

それから、今後は女性を中心としたセミナーも考えていく必要があるんでないかなということで、今後のセミナーの活動の中に新たなものを取り入れていきたいということで、ネットワークの活動を進化させていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

今後、女性の起業について力を入れていくと、ぜひお願いしたいと思うんですけれども、今現状は、女性の起業状況というのはいかがなもんなんですか。

また、男性とまた特に違った課題等があるもんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

実態といたしまして、平成26年度に市の補助制度を利用して就業された女性の方がお一人でございます。27年度の状況では3件で、特に業種では、飲食業、美容業で個人事業主が多い状況でございます。先ほど申し上げましたように、現在、女性に特化した支援を行っておりませんが、創業支援セミナーの中で女性を対象としたセミナーの開催も、今後検討していく必要があるのかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

次に、以前にも提案したことがありますワーク・イン・レジデンスですけれども、起業を志す若い世代や地方での転職、定年後、自分のそれまでの経験とか趣味、特技、技術を生かしての起業を目指す、別の仕事で第2の人生を送ろうとする団塊世代、こういった方々がいろいろと起業・創業を考えておられるということをよく話に聞くわけですが、こういった技術や資格、経験等を有している人などが、移住して起業・創業する取り組み、そういったまたサポート体制は、今後どのようにされていくのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

ワーク・イン・レジデンスにつきましては、仕事がなければ仕事を持った人に移住してもらって、そこでサテライトオフィスという働き方をしてもらってもいいではないかという取り組みだというふうに思っております。

以前にも建設産業常任委員会の県外視察の徳島県神山町にも同行させていただいたところであります。ワーク・イン・レジデンスのそれに近い取り組みといたしまして、先ほどの一般質問の中でもご答弁申し上げましたけれども、昨年、田んぼオーナー制度をきっかけにしてIT関連の企業が市内の空き店舗で事業を開始いたしました。そこでの勤務者が3人でありましても、非常に事業が順調に伸びてきていますので、ITを活用した在宅勤務を検討するというお話もお聞きしております。地元雇用の促進のみならず首都圏からの移住・定住にも期待したいと思っておりますし、ただ、ワーク・イン・レジデンスに関するサポート体制というものは、まだまだ勉強する必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

今、お話がありましたようにワーク・イン・レジデンスの場合は、今こちらにあるいろんなものを活用して、また店舗あるいは事務所等を空き家・空き店舗そういったものを活用できる。そして、移住促進もやるということで非常に取り組んで力を入れていけば効果的なものではないかというふうに考えております。その空き家を活用して、あるいは空き店舗・空き公共施設ですけれども、今現在、先ほどの市長答弁では、今後のということですが、以前にインキュベーションについて課長の3つの案の中のうちの1つは、こういったことの勉強にも行かれたということを答弁されておりましたけれども、その辺の状況はいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

地方創生の総合戦略を検討する中におきまして、関係機関の皆さんとの意見交換、またあるいは地方創生の特別委員会の中での議員の皆さんのご意見等を受けまして、当課の主査以上の職員につ

きまして、先進地の視察をさせたわけであります。時代の流れとともにいろんな働き方、創業の仕方が出てきております。そういう部分を勉強させたわけでありますけれども、まだ具体的に行動に移しているわけではございませんけれども、視察研修をもう少し掘り下げて総合戦略の具体に取り組んでまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

空き家をビジネスに活用する案なんですけれども、実際に市内においてはそういう例、例えば古民家を宿泊施設にするとか、そういったことがあるんじゃないかと思うんですけれども、例はあるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

当市におきます空き家のビジネスへの活用例については、今現在、把握しておりませんが、IT企業の事業所開設の動きもありますことから情報収集と課題の把握に努めてまいります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

IT企業の事業所がこちらに進出してくるといってお話があるということなんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

失礼いたしました。少し説明が不足しておりました。

昨年の田んぼオーナー制度からIT企業が市内の空き店舗に事業所を構えたということから、IT企業の事業化というところを説明させていただいたわけであります。説明が不足しておりました。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

空き家あるいは空き店舗もそうですけれども、そういった例は今のところ見当たらないということなんですが、こういったものに使える空き公共施設というものはあるものでしょうか。あるいはそういう調査というのをされていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

藤田企画財政課長。〔企画財政課長 藤田年明君登壇〕

企画財政課長（藤田年明君）

お答えいたします。

当課のほうで管理している普通財産という形になりますけれども、大きなものとしては、やはり統合した学校関係が大きなものとしてあります。活用した例としては、南西海小学校がありますし、今、今井小学校も職業訓練校等に活用しております。その他のものということになると、やはり耐震化等の問題がありますので、今後、活用できるものとしては、新年度に新たに出てくる上早川小学校とか、それから市振保育園、そういったものが今後どういうふうな形で活用できるかという面については、また町内や地元の方のご意見を参考にすることで進めてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

以前、能生町時代に能生水産高等学校の分校を利用して移住してこられた方が、そこで事業を始めて、さらに定住されている。あるいは彫刻家の方が入られて、また住まれているというふうに、こういう空き施設をできれば安価な形で提供して、そういうふうに結びつけていくというのは、非常に効果があるのではないかなと。

また、耐震問題もあろうかと思うんですけれども、ぜひネット環境等あるいはオフィス関係等の整備すればそういうのを利用したいというニーズがあるんじゃないかなと思うんですけれども、そういうニーズに対しての調査というのはされておられますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

藤田企画財政課長。〔企画財政課長 藤田年明君登壇〕

企画財政課長（藤田年明君）

公共施設の普通財産という点では、過去にはホームページ等に載せて活用しませんかというのは、上げたことはありますけれども、申し込みとしてはなかったという状況であります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

また単に、空き施設があるからという、これからの時代は、ある程度の施設整備をして、先ほどインキュベーションの話をしましたけれども、コワーキング事業なんかも最初、話をしました産業競争力強化法、ああいった中でも進めている事業であります。そういうふうにコワーキング事業を初めレンタルオフィス、そういうふうな形でこちらがある程度、最低限の共有するものというものを整備して、レンタルあるいは安価に貸し出すという方法なんですけれども、そういうことに対する考えはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（斉藤 孝君）

農林水産業の体験就業に対する滞在費の助成等は、27年度から予算化をしてきておりますけれども、今現在、利用の実績に至っておりません。そのほかに移住・定住相談等で糸魚川市に興味をお持ちの方、これらの方々のご意見・ご要望もお聞きする中で、今、議員ご提案のような整備について検討していきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

私もちょっと言葉が足らなかったんかもしれないけれども、コワーキング事業やなんかは、1つの施設に1人の事業家が入るんじゃなくて、複数人間が入って共有していくという考えで、非常に負担が少ない。まず、仕事を始めていくのに入りやすい、そういったメリットがあるということで、今かなり先駆的な取り組みとして進められていますし、取り組んで実際にいます。そういったことで、1人の人が1つのそういったんじゃないって、負担が少ないので非常にこれからもニーズがあるんじゃないかなと思うんだけど、ぜひその辺の検討というものもまた進めてもらいたいと思います。

空き公共施設と別ですけれども、あいてる事業所の把握というものは、どんな状況でしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（斉藤 孝君）

空き事業所・空き工場等の発生は承知しておりますけれども、数としての把握はしていません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

最近では、たびたび話に出てきます能水商店があいてる事業所を借りてやったということで、またすごく成功例としてもいいんじゃないか、そういうことで一番手っ取り早い方法じゃないかなというふうに思います。ぜひその辺の検討もお願いしたいと思います。

1次産業の新規就業状況でありますけれども、今回もいろんな方がこのことを取り上げておられますけれども、特に新規就農状況であります。かなり減っている状況なんですけれども、糸魚川市においての新規就農状況というのが、ここ数年ではどんな状況でしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（斉藤 孝君）

農業・林業・水産業、1次産業を全般を通しまして23年が3名、24年が2名、25年が7名、

26年が6名、27年が8名でございました。このうち農業の就業に関しましては、26年では4名、27年では4名、25年以前につきましては、2名から3名程度で推移していたということですので、ここ一、二年の間、1名ふえているという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

それは恐らく市内在住の方も含まれているんじゃないかなと思うんですけども、市外から移住されて始めておられるという方がおられますでしょうか。その辺の把握はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

農業に特化してご説明申し上げますけれども、直近5年間で新規に就農された方16名のうちUターン者が8名で、Iターン者が4人となっております。残りの4名については、地元にて就農された方だというふうに承知しております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

やはり新規就農、担い手を募集したり、あるいは担い手をふやしていくには、所得が上らなければやはり魅力がないというふうに思うんですけども、先ほど話もしましたKPI等においても増加率を、例えば漁業だったら10%の増とか、担い手の農地の集積率を50%にするとかあるわけなんですけれども、具体的に大体、市内の平均的サラリーマンよりも所得を上を持っている認定農業者あるいは専業農家という方はどれくらいおられるもんなんですか。またそれを上げる方策としては、どのようなことを考えておられますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

各農家の農業所得金額は、把握しておりませんが、農業経営基盤強化の促進に関する基本構想の中におきましては、目標の所得額を400万円というふうに想定しております。そのために必要な経営規模は、水稻単一経営の場合に15ヘクタールが必要というふうに見込んでおります。27年度末の認定農業者が165人おりますので、この15ヘクタールにおおむね到達した方というのは15名程度でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

15名程度がということで、それも400万円平均所得を持っている人でそれだけと。やはりそうするには15ヘクタールという耕地面積があるわけなんですけれども、当市においては現実問題として難しい数字のような気もするわけです。この辺は米作一辺倒が多いわけなんですけれども、それをカバーするためには、作物、園芸作物、あるいは6次産業化、そういったものを推し進めていくのが一番かなと。また、恐らくそのことにも力を入れておられるんじゃないかなと思うわけですけれども、今後、今そういったふうに高所得を上げられるための推奨する特産品や農産物は、どのように市では考えて、これから展開していくのか。

また6次産業化も今、数人の方が先ほど例として挙げられましたけれども、今後どのようなものが考えられるのかお聞かせ願いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

前のご質問にもお答え申し上げましたけども、水稻単一で農家の所得を上げていくという部分につきましても非常に厳しいものがあると思っております。

昨年の例でありますけども、米の収穫の後にキャベツを植えて園芸をすとかいう取り組みも、実際のところ昨年取り組んでいただいた農家もございます。それによる大変難しい点もあったというふうにお聞きしております。

それ以外にヨモギの生産につきましても、2年ほど前から耕作放棄地を利用して拡大をしてきております。それから、越の丸茄子につきましても、非常に首都圏での人気な商品でありますけれども、なかなか生産していただける方がふえてこないという問題もございますけども、そのような園芸作物についても生産拡大を呼びかけてまいりたいというふうに考えております。それから、6次産業化でワサビの栽培プラントも完成したわけでありまして、この3月から本格出荷というふうになります。年間6万本以上が出荷されるというふうにお聞きしておりますし、それらをワサビ単体で販売する方法もあるでしょうし、また6次産業化の事業者のほうでは、ワサビ単体でなくて加工して売り出す部分ももう既に取り組んでおりますけども、また、新たな加工という部分もNICOと連携しながら商品開発をしているというところで、余すところなくワサビを使って収益を上げるという取り組みも現在していただいているところであります。

それから、能生地域での農家の皆さん、農業法人では、冬場の就労・収入という部分が厳しい中で米菓の製造販売というところにも取り組んでいただいておりますので、そのような取り組みを支援し、また新たな取り組み事業者にしっかりとサポート体制をとっていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

水産業ですけれども、水産業のほうでの新規就業、あるいは創業というものに対する取り組み、

それはいかがなものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

水産業におけます新規就業の数でありますけども、25年度では4名、26年度では1名、27年度では2名というふうな数をお聞きしとるところであります。

ありがたいことに上越漁協の平均年齢が非常に若く、新潟県内でもトップだということもございます。そういう若手の漁業者も含めて、これからの創業体制、支援体制を一緒になって考えていきたいというふうに考えておりますし、特に先ほども申し上げましたけども水産業の就職希望者の滞在費の助成事業も設けておりますので、糸魚川市においていただいて、水産業の体験をしていただきながら、新鮮な鮮魚の食も味わっていただきながら、糸魚川の魅力を感じとっていただきたいというふうに考えておるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

それで、これは2月19日の新潟日報の窓欄にありまして、非常にうれしい反面どうしたんだろうというところがあるんですけども、ごらんになったのかもしれないけれども、群馬県の高校生の人が海洋高校に釣りが好きだから来たというところなんですけれども、寮生活をしながら3年間を過ごして非常に有意義だった話を書いてあります。さらに釣り好きが高じて体験漁業などを経て、そのおもしろさからどうしてもこの仕事にしたいと思ったと。ここまで本当にいい話だなと思って見たわけなんですけれども、縁があって春から長岡市で小型定置網漁業の漁師の見習いとして働くことが決まった。縁があって、またいろんな事情があたりだったんでしょうけれども、この中に書いてあるのには、地域漁業の担い手確保事業の支援も受けと、そういうふうにあります。せっかく海洋高校に来て、体験漁業もして、ここのいい思い出もつくって行って、就職がそちらのほうに行かれたということであるわけなんですけれども、ここに書いてありますような地域漁業の担い手確保事業という支援は、この辺では、ここの地域ではどのようにされているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

新規漁業就業者総合支援事業、水産庁が所管しているものだというふうに思います。これは、市の直接のかかわりがなくて、新潟県漁業協同組合連合会が事業主体となって取り組んでおりまして、就業の相談会やらマッチングが成立した場合の船主との新規就業者を研修生と受け入れる支援体制についても、この事業の中で取り組んでいるというふうに認識しております。今お話がありましたケースにつきましては、地元漁業協同組合とどのような情報共有があったのか少し確認してみたいというふうに考えております。

それから、海洋高校につきましては、今、市内の企業がチョウザメ、それからイトウの養殖に手がけておりました、そこにも産官学連携でもって海洋高校の生徒が養殖の実習に手をお貸して、今一緒になって取り組んでいるというところでございます。ぜひそういうところに、今度は卒業生が雇用していただけるような支援体制もしっかりとサポートしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

それから、なりわいネットワークが非常に成果を上げているわけなんですけれども、またこれから成果を上げれば、また活動すればしたで、またいろんな新たな課題も浮かび上がっていることも聞いてはいる。建設産業常任委員会でもお話を聞きましたし、また、いろんなところでのお話もあるんですけれども、さらにそういった考えから今回もいろんな方が一般質問にも取り上げている、団体をつくってはどうかという話があるんですけれども、私も各地で取り組み始めている地域商社というものがあるわけなんですけれども、これなんかは案外おもしろいんじゃないかなというふうに思うんですけども検討はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

今、なりわいネットワークでは、あじわい交流事業といたしまして東京の飲食店の皆さんから糸魚川においでいただいて、生産者の顔を見ていただいて、生産地を見ていただいて、生産地での味を味わっていただいて販売につなげるようにというふうな味わい交流事業を実施しております。

1回目はもう終わりました、2回目が3月の2日、3日と第2弾が実施するわけでありまして。

その後は、実際に糸魚川の生産者が自分の生産したものが首都圏のどういうところで、また、どのようにお客さんに出ているかというところを実際の現場を見て生産者の意欲向上につなげていただきたいなど。また、首都圏の飲食店とのつながりを強くしてほしいなどということから味わい交流事業を今、計画しておるところであります。

1回目の交流事業におきましても首都圏からおいでいただいた飲食店の皆さんから販売の窓口はどこなんだ、それから、情報提供はどのようにしてくれるんだというふうなご意見もいただきました。そういう意味におきましては、今ご提案のような窓口、組織というものをどのようにつくっていけばいいのか、なりわいネットワークの会長を中心としながら、その組織体制を考えていく必要があるんじゃないかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

さらなる発展と支援のほうよろしく申し上げます。

今回、起業・創業ということを中心に上げさせてもらいましたけれども、結構、私の周りも最近、起業・創業の話をしてくる方がふえております。恐らく課長のほうもたくさんあるんじゃないかなと思います。

1つの例として、今度、結婚することになったという人がおまして、糸魚川市内で一緒に住むんだけれども奥さんになる人が市外から来るが、勤めるよりも時間を自由に使いたいの自分の特技を生かしたものをやりたいと。それに当たってそんなに負担のかからない、先ほど紹介しましたコワーキング事業のようなそういうスペースがあれば取っかかりがいいんだがなということから、今回このようなことをいろいろと提案させてもらいました。ぜひまたいろんなパターンもあろうかと思しますのでお願いをして、まず起業・創業のほうは終わらせてもらって、次、騒音問題のほうにお願いします。

騒音問題ですけれども、これで私4回続けてなんですけれども、きょうも新潟日報の社説に、この騒音問題が大きく取り上げられております。ごらんになっているかと思うんですけれども、本当に騒音問題については、がっかりといいたまいますか大変まあ住民との話の中でもせつないという気持ち強いわけでありまして。

先ほどもいろいろと騒音問題についての質問がありましたけれども、基準の70デシベルというのは、どんなものなのかというの、あるんですけれども、この社説の中にも書いてあります。70デシベルで、間近で鳴くセミの音や高速走行中の自動車内の音量と同じであるとされる。大声で1メートル以内の距離でないと会話が成立しない環境。私もよくその現場に行っているんな方とお話するけども、新幹線が通ると一旦会話をやめて、通過してから、また話をするというような生活、住んでる方は非常にたまらないなというのが改めて思うわけでありまして。この中にさらに紹介されているのが、地響きのような音が朝から晩まで続く、朝、本当に6時過ぎから夜の11時近くまでだと。この社説にありますように幾ら便利になったからといって住民の生活を犠牲にすることは許されない。先ほど新保さんの質問のやりとりの中で市のほうも一生懸命頑張っていて、副市長も3回行かれたとかあるんですけれども、今回、機構も1次、2次測定を終わり、国もまた測定をしたということなんですけれども、国のほうでは、この測定の結果を受けていろいろと要請を出しているというふうに聞いているんですけれども、その要請の内容と、これは法的拘束力はないということなんですけれども、可及的速やかにやるといふように要請が出るといふんですけれども、その辺の機構の対応はいかなもんなんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

おっしゃるとおり環境省のほうでも騒音測定をして、そのうちの糸魚川では3カ所基準オーバーだったということで、これについては改善するようにということで申し入れを行っておるといふふうに聞いております。その席にも、例えば同行させてもらいたいかと話はしたんですけども、今回は同行はだめだということで国のほうだけで行ったということをお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番(田中立一君)

機構は、なぜこういったのは非公開なのでしょう。国は、県に委託してやったというふうに聞いてるんですけども、若干発表されているのでは、測定地点が違うのか、あるいは測定場所が国のほうが少ないからそうなのかわかりませんが、若干の違いがあるように見受けるんですけども、その辺はいかがなのでしょう。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長(渡辺 勇君)

測定の日、例えば天候だとかそういうものにも多少は影響はあるかと思えます。基本的には、資格を持った人がやっておりまして、測定方法も決められたとおりやっておりますので、さほどの違いはないと思えますが、やはり気象条件等によって若干の違いは出てくるのではないかなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

田中議員。

7番(田中立一君)

先ほど70デシベルの話をしましたけれども、この新聞を見ると柱道、小見で72、さらに2ポイント高い、以前に私聞いたのでは、柱道の一番近いところで78というのも伺ったことがあります。相当な数字のものだと思います。

資格のある方がこのように測定しているということなんですけれども、報道では国じゃなくて県、それから上越市も独自に調査をすると、これについて踏み込んで調査を継続していくと。糸魚川市は、この点についてはどういうふうに考えておられますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

環境生活課長(五十嵐久英君)

県の対応がどのような形というのをまだお聞きしてはいないんですけども、基本的には糸魚川市のほうでも、特に小見、柱道、梶屋敷については、継続的に測定していきたいなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

田中議員。

7番(田中立一君)

今のお話として、市のほうでも独自に測定調査をしていくというふうに受けとってよろしいということでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

環境生活課長（五十嵐久英君）

そのとおり、今後、市のほうでも、県とか測定地点がかぶるとまたそれも二重にはかっても無駄になるのかなとは思ってるんですけども、基本的には市のほうでも独自にはかかっていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

ぜひやっていただきたいですし、その辺の様子を市民に公開していただきたい。かぶろうとかぶるまいと構わないので、どんどんやっていただきたい。なるべく早くやっていただいて、その結果をまた国、県、機構、JRにも示していく必要があるんじゃないかなと、その辺の考えいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えいたします。

今、鉄道・運輸機構が測定したのものもありますし、それから国・県のやつもあります。したがって、今後は音源対策をしたり、それから住宅の防音工事が終了した段階で、市のほうもその辺の結果を見ながら測定していきたい、それを受けて、また鉄道・運輸機構とその辺について、対応について、また要請をしていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

見守らないでどんどんやっていただきたいなと思います。やはり市のほうがそういった動きやっていたらと、住民は機構等に対して信頼関係が失われつつある状況であるところは把握されてると思います。認識されてると思います。ぜひ市のほうでは、一生懸命やっているというのを見せてもらいたいと思いますので、その辺よろしくお願ひしたいと思います。

先ほどからの話の中で、住民の信頼、機構に対するものの中で、これはコピーしたものなんですけれども、北陸新幹線にかかわる騒音等2次測定、それから住宅防音工事等の助成といういろいろあるんですけども、この説明や話をするときにおいて機構のほうでは、助成という言葉を使うわけなんです。助成とは何だと、我々は被害を受けているのに何でこれは助成という形なんだというふうに非常にどこへ行っても聞かれます。そういった言葉から受ける印象がすごく上から目線と言ったらいいんでしょうか、そういうふうに感ずると。こういう言い方というのは、言葉の上ではどうなんかなんですけども、使い方は市のほうでは、こういった言葉やっぱり使ったりするんでしょうか。

それと、こういう使い方についての考えと言いましょうかはどうなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

先ほど市長のほうの答弁では、住宅の防音工事費補償ということで答弁させていただきました。市のほうでは、これは助成ではないというふうに考えております。

ただ、鉄道・運輸機構では、法律なり規則の中でそういう助成という言葉があるんだということで、そちらを根拠にしていますけども、糸魚川市としては、それは助成ではない、あくまで補償という考え方であります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

当たり前の話と言いましょうか、本当にそう思います。ぜひ市のほうからこういったことで、まず1つが取っかかりからして信頼が損なわれているということをぜひ伝えてもらいたいと思います。法律的なことだとかそういったことは、市民はその後でいいんです。まず信頼関係が失われるかどうかというその構築から始まるんじゃないかと思います。やっぱり上から目線のような印象を受けることはやめてもらいたい。それからスピード感、そういったことでないかと思います。交渉のほうは、今、個別に住宅等のほう始まっているというんですけれども、今60件が能生のほうではあるというふうに、60件全部に入っているということでしょうか。それとも、まだ入ったばかりということなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

能生地域においては、2次測定を行ったのが60件程度であって、そのうちの基準を超えているのが半数を超えておるということでございまして、基準を超えているものについて、一応、交渉には入っておるということですが、全部が全部入ったかということではないというふうに理解しております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

できれば市のほうもそういった要請に応じてというところあるかもしれませんが、どのような交渉をしているか等は、全て把握していただけたらというのが住民の願いでもありますし、住民説明会もやってもらいたいと。つい最近、小見のほうでは区長さんを先頭にして一度話を聞かれ

たというふうなんですけれども、その辺の状況はいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

小見地区において、やはり住民説明会をしていただきたいということで市を通して機構のほうに話をして、先日、住民説明会を行いました。やはり今言ったように、ずっと住んでおるので、この振動だとかそういうものについては耐え切れないんだと。1次測定をやったり2次測定をやりますよと言って説明会に入ったのに、2次測定の結果についてなぜ住民説明会を行わないんだということから、機構側にもやはり不信感を持っておるということでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

小見がそのように、それでもまとまって区長さんを先頭にそういうのスタートした。各地区においてもやはり個々においてそういうのをやりたいんだけど、なかなかできない、音頭とる人もなかなか大変だということがあります。できるものなら市のほうでもその辺を需要を察して住民説明会を速やかにしていただくようお願いしたいと思います。その辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

やはり一個人では、なかなか機構に対して物を言うというのは難しいというふうに思っております。そういう意味では、区長さんなりを通して言っていただければ幾らでも説明にも行ったりしますし、それから、また住民説明会についてもやはり我々そういうものについては、行っていくのがいいのではないかなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

今回と言いましょか先ほど言いました、私4回これで北陸新幹線の騒音続けてやっておりますけれども、それを聞いたり見た市民から国道8号の騒音は、ずっと前からなんだと。環境問題の現状の有無もあるわけだ。これ見ても何力所かで国道8号あります。答弁もいただいたとおりです。こういったものは、どのように、いつごろまでとかそういったことできないんでしょうか、騒音問題の解決。高速道路の基準は達してないと言うんですけれどもかなりうるさい。こういうものの働きかけ、あるいは今後の解消策というのは、どのようにやっていかれるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

環境生活課長（五十嵐久英君）

国道8号については、東は能生から西側のほうは寺地まで9カ所、北陸自動車道につきましては、東は大洞から西は歌まで15カ所を、毎年、市のほうでも測定しておりまして、そのうち27年、昨年度の調査結果では、国道8号については昼間で4カ所、夜間で7カ所、北陸自動車道のほうでは夜間で1カ所、環境基準のほうがオーバーした数値が計測されたということでございます。特に国道8号については、ここ数年こういうような状況変わっておりません。

それで、先ほど市長の答弁申し上げましたように毎年の測定結果を国道の場合は国交省のほうへ、北陸自動車道につきましては、東日本・株式会社のほうへ、こちらのほうは県の高速道路交通公害対策協議会というところで県内の自治体が集まった団体でございますが、そこでということなんですけども、毎年毎年、要望はしてるんですけども、なかなか環境基準については、法定で絶対にそこを下回らないと何か罰則があるというものじゃなくて、達成すべき基準ということでございますので、なかなか、当然、環境部門といたしましては、そういうところへ、発生源のところへ申し入れはするんですけども、なかなか現実には音が小さくならないとか環境基準を達成できてないというのが現状でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

地方創生とか地方での人口問題とか考える上でも静かな環境というのは大事だと、ぜひ強く要望してもらいたいと思います。高速道路の環境の中で、特に能生の駅南地区なんですけれども、盛り土のところの木が何年も前から地元からも話が出てるらしいんですけども、非常に大きくなって危ない。それが風の強いときや何かでは、盛り土の間にあるトンネル、そこは通学路にもなっていて非常に草や、あるいは枝木が落ちて危ない。昨年、若干は伐採して、これから全部やってくれるんかと思ったら全然一部だけだった。これは一体どうなってるんだらうと、なるべく早くやってもらいたいんだというふうに言ってるんですけども、この辺はいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

建設課長（串橋秀樹君）

高速道路の関係ですので建設課のほうからお答えさせていただきます。

糸魚川地区に盛り土区間で金網が張ってある高速道路の敷地内に木が植わってて、草とか木も生えますし、それが一応支障になるという場面があります。そのようなときは、上越管理事務所のほうへお願いしまして処分していただくようにはお願いしておりますので、能生の駅南地区でもそのような状態が発生しておると思いますので、能生事務所を通じて上越管理事務所のほうへまた要請していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番(田中立一君)

よろしくをお願いします。

じゃあ次に、北陸新幹線とえちごトキめき鉄道、前回、12月議会で11月11日と15日に建設課のほうで南北自由通路の調査をしていると。いつか報告されるのかなと思ってるんですけど、全然報告が今までなかったように思うんですが、結果を教えてくださいたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

建設課長(串橋秀樹君)

南北自由通路の歩行者の数でありますけども、11月11日と11月15日、11月11日は普通の日で、11月15日は日曜日の日でありました。詳しくちょっと説明させていただきますと、11月11日が在来線で乗車した人は665人、おりた人が652人、それと11月15日、乗車した人が377人、おりてきた人が385人です。それと、今度、新幹線の改札口ですけども、11月11日に乗車した人が803人、おりてきた人が618人、11月15日の日曜日ですけども、乗ってきた人が694人、おりてきた人が691人ということであります。これも合計しますと在来線、新幹線合わせて乗降客数というのは、11月11日が2,838人、11月15日が2,147人ということであります。

それとあと、南北自由通路を南から北へ行ったり、北から南に行ったりと、駅を利用しないで南北自由通路だけを利用した人が11月11日が933人、11月15日が925人というふうになっております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

田中議員。

7番(田中立一君)

ありがとうございます。そのときの話では、新幹線については、金沢方面からと東京方面からの人数も調査したというふうに答弁されてるんですけども、それはいかがだったんでしょう。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

建設課長(串橋秀樹君)

ちょっと待ってください。

議長(倉又 稔君)

暫時休憩します。

午後4時50分 休憩

午後4時50分 開議

議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を再開します。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

申橋建設課長。〔建設課長 申橋秀樹君登壇〕

建設課長（申橋秀樹君）

すみません、申しわけありませんけども、金沢方面と東京方面の数字は、今、出ておりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

もし、また、わかったら後で教えてください。

これをやった目的というのは、何だったんでしょうか。それと、この数字を今後、市ではどのように生かしていく予定でしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

申橋建設課長。〔建設課長 申橋秀樹君登壇〕

建設課長（申橋秀樹君）

新幹線が開業しましてから駅も新しくなったわけで、初めてどれぐらいの人数だということを確認したいために実施したわけですけども、明らかに言えるのは、新幹線の乗客に対しまして在来線の利用者というのは、新幹線開通前よりも200人ぐらい減ってきたということが言えておると思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

補足してちょっと説明をつけ加えさせていただきますけれども、今の乗降調査を含めて、以前に新幹線の乗降客の調査等も実施いたしております。先ほどほかの方の一般質問にもお答えいたしました。今後の都市計画マスタープランの見直しとか、あるいは地域公共交通の交通網の形成計画とかそういうようなものを含めて、市の計画の中で今のものを分析し、生かしていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

100年に一度のチャンスとしていろんな事業にこの1年取り組んできましたけれども、2次交通を含めてのその辺の事業の検証等はされていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤産業部長。〔産業部長 齊藤隆一君登壇〕

産業部長（齊藤隆一君）

間もなく開業から1年を迎えます。前段のご質問の関係もありますけれども、今の新幹線の乗降客、あるいはまた在来線の乗降客、もっと言えば経済指標の全体的なこと、2次交通ももちろん含めてでありますけれども、景況調査の結果、あるいは観光入込客、宿泊者の動向とかこういったものを1つのテーブルの上に乗せてしっかりと分析をしていく必要があるというふうにも思っております。間もなくその時期を迎えるわけありますので、数字をしっかりと把握した上で真価を問われる2年目に突入をしていくという準備をしたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

次、えちごトキめき鉄道ですけれども、朝・夕の混雑解消は、今回ダイヤ改正見てがっかりしました。全然我々の要望、特別委員会でもえちごトキめき鉄道、あるいは県のほうへも要望行ったんですけれども、反応がよくなかったことは確かなんですけれども、全然ダイヤ改正見ると我々の要望は反映されていないというふうに映ってるわけなんですけれども、その辺について市のほうではいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

先ほどから申し上げてるとおりやはり要望は、何も受け入れてもらえなかったという感想は持っております。やはり数字だとかそういうものをしっかり示した上で、どうしても混雑解消をしていかなければならないというふうに思っておりますので、また引き続き要望・要請なりしていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

取締役会では、このことについてどのような話をされているかお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答え申し上げます。

ダイヤ改正につきましては、取締役会での協議時間ではないということで、私らもこのダイヤ改

正につきましては、発表された段階で初めて知ったということであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

では、混雑解消についての取り組みについては、どのような話し合いをされているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答え申し上げます。

混雑解消につきましては、逆に取締役会とかそういうところではなくて、私らの糸魚川市とえちごトキめき鉄道相對で要請をしております。昨年も10月ごろからそういったことを要請しておるんですけども、ダイヤ改正も含めまして、それから車両の増設等を要望してるところであります。

ただ、ダイヤ改正につきましては、余りダイヤは改正されなかったなということでもありますし、快速のほうがもう少し30分ぐらい早くしてもらいたいという要請もしたんですけども、それはJRとの関係があつてだめだったということでもあります。そういったことで、今後、また車両の増設等につきましては、十分要請したいと思っております。

また、朝の混雑のほうですけども、今、乗車率はえちごトキめき鉄道の調査では、乗車率はまだ100%にはなっていないということでもあります。大体60から80%の段階なんだということでもあります。そういったことを踏まえて、またこの春から私らも直接乗ってみて乗車率がどれぐらいなのか、それから混雑率がどれぐらいなのか、そういうことにつきまして実態も十分調査したいと思っております。

議長（倉又 稔君）

質問の途中ではありますが、あらかじめ皆様方にお諮りいたします。

質問時間が5時を過ぎるかもしれませんので、本日の会議時間を、もし過ぎたとしたら延長したいと思えます。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

ご異議なしと認めます。

よって、会議時間を延長することに決めます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

副市長には、ぜひ取締役会のほうでも実態を調査した上で強く要望していただきたいと思えます。時間がないんですけども、イベント列車、私12月のときに申し込んだらもう申し込みはできない

んだと。先ほどの答弁では春からと、このことについては全然ホームページにも何もなくて、私ら使ってあげなきゃと思ってやったらだめだったという、この辺についてイベント列車の中止のことについては、いかがだったんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

イベント列車につきましては、ことし初めて冬の運行、イベント列車、普通の運行も、ことし初めて冬を迎えるということで、その状況がどうなるかということで、まず通常の運行を優先して、イベント列車については、少し冬様子を見させてもらったというのが現状であります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

事前にやはりホームページでもいいですし、発表してもらいたかったと思います。

以上、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

議長（倉又 稔君）

以上で、田中議員の質問が終わりました。

本日はこれにてとどめ延会といたします。

大変ご苦労さまでした。

+

午後4時59分 延会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長

議 員

議 員